

平成29年度提供会員養成講座

29年度の養成講座は南伊勢町役場にて開催します。子育て情報は年々変わっていきます。提供会員には常に新しい情報を知って頂くという意味でもスキルアップに、依頼会員には子育てにいかせてもらえるように受講して頂きますようお願いいたします。またお友達や家族の方にもお勧めしてください。

日程	講座内容	講師(敬称略)	時間
5/13 (土)	開講式・オリエンテーション	担当アドバイザー	9:20~ 9:30
	子どもの権利	田部真樹子:三重県子どもNPOサポートセンター理事長	9:30~11:30
	保育の心	堀川美子:育児支援アドバイザー	12:30~14:30
	提供会員の役割と心得	秋山則子:三重県子どもNPOサポートセンター副理事長	14:45~16:45
5/14 (日)	子どもの遊び	山野栄子:学校法人大橋学園マリア短期大学准教授	10:00~12:00
	身体の発達と病気	花田 基:花田小児科院長	13:00~16:00
	会則・活動記録等の説明	担当アドバイザー	16:10~16:40
5/20 (土)	子どものけがの予防と応急処置	富内直美:日本赤十字社三重県支部	9:30~12:30
5/21 (日)	心の発達/障害について	千草篤磨:高田短期大学こども学科学科長	9:30~12:30
	子どもの栄養と食生活	馬場啓子:管理栄養士(元大学教授)	13:30~16:30
5/27 (土)	小児看護の基礎知識	岡田まり:株式会社エヌエス介護ステーションほたけ管理	9:30~12:30
	講座をふりかえって (グループで話し合い)	南伊勢町担当者 秋山則子:三重県子どもNPOサポートセンター副理事長	13:30~16:30

会場:南伊勢町役場 南勢庁舎(三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦 3057 電話:0599-66-1114)
 対象者:玉城町・度会町・南伊勢町・大紀町・大台町内および近隣市町に在住する20歳以上の方で、受講後に提供会員として登録していただける方

募集人員:30名(先着順)

受講料:無料。ただし、テキスト代(2,500円)は受講者負担となります。

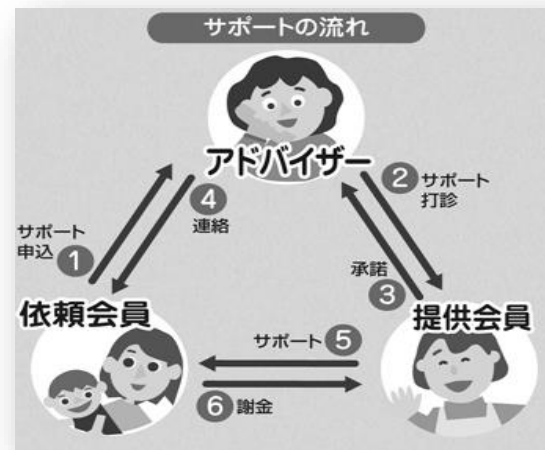
※今回、講座日程のすべてを一度に受講できない方は、ご相談ください。

その他:託児をご希望の方は、申し込み時にご相談ください。(無料)



主なサポートの流れ

- 依頼会員は登録をします。(無料)
- アドバイザーと提供会員、依頼会員と子どもで事前打ち合わせをします。
- 依頼会員は、センターに電話にて依頼します。
- アドバイザーが提供会員に連絡し、確認後実施されます。
- 提供会員は、月締めで活動報告をまとめてセンターまで提出します。
 *キャンセルの場合は、依頼会員から提供会員とセンターに速やかに連絡してください
 *サポート依頼は原則、センターの開設時間内に受け付けます。



お問い合わせは みえ子育て支援・緊急サポートネットワーク

南勢志摩地域センター

玉城町 担当アドバイザー 池田千恵 地域サブリーダー 松井麻起子
 度会町 担当アドバイザー 岩井圭子
 大紀町 担当アドバイザー 鬼藤千代子
 南伊勢町 担当アドバイザー 倉木紀子
 TEL&FAX 0596-23-3938
 〒516-0037 伊勢市岩淵2丁目3番13号 NPO法人 三重みなみ子どもネットワーク内

多気郡地域センター

大台町 担当アドバイザー 西村理沙
 TEL&FAX 0598-22-1950
 〒515-0084 松阪市日野町788 加307 1階 特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター内



2017年4月発行

ほっとニュース

発行:度会郡・大台町ファミリー・サポート・センター



昨年11月、(特)三重県子どもNPOサポートセンター主催で、県内の子ども・子育て支援のNPO団体とその関係者19名が、イタリア北東部のレッチョ・エミリア市へ視察に行ってきました。

「レッチョ・エミリア・アプローチ」は、レッチョ・エミリア市で戦後間もない時期に、母親たちの共同保育運動として始まり、今世界的に注目されている幼児教育です。このアプローチの理念は、創始者のひとりローリス・マラグッツィによる詩「子どもには100の言葉がある」に象徴されています。子ども一人ひとりの意思や個性を尊重し、個々の感性を生かし、あらゆる方法で表現することを大切にしています。

保育園を訪れた時、2歳児が円になって座り話していたので、何をしているのか先生に聞くと、昼食前にみんなで集まって、今日自分がしたことをみんなに話すのだそうです。そうやって自分の言葉で自分のことを話し、また他人の話を聞くことで、小さい頃からお互いの違いを認め合う環境が作られていると感じました。また、「大人は自分が知っていることを教えるのではなく、子ども一人ひとりをよく観察し、一緒に話し合い考えます。私たちも子どもから学びます」という先生の言葉が印象に残りました。まさしく「子ども主体」の実践の場だと感じました。(塩谷)

地域別会員数&活動件数(平成28年度)

地域	依頼会員	提供会員	両方会員	会員数合計	活動件数
玉城町	99人	52人	7人	158人	269件
南伊勢町	9人	9人	1人	18人	0件
大紀町	16人	25人	1人	42人	0件
度会町	21人	16人	2人	39人	0件
大台町	58人	47人	8人	113人	4件
合計	203人	149人	19人	371人	273件



交流会:「自分だけのふりかけ作り」より

利用状況(平成28年度)

- 保育施設の開始時や終了後の子どもの預かり.....37回
- 保育施設等までの送迎.....229回
- 放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり.....0回
- 学校の放課後の子どもの預かり.....0回
- 冠婚葬祭や兄弟の学校行事の際の子どもの預かり.....0回
- 買い物等外出の際の子どもの預かり.....6回
- その他.....1回
- 病児・病後児の預かり.....0回
- 宿泊を伴う預かり.....0回
- その他(早朝・夜間等の緊急時の預かりなど).....0回
- 上記に伴う保育施設、病児・病後児保育施設自宅間の送迎.....0回



交流会:「自分だけのふりかけ作り」より



平成 28 年度交流会
第 1 部 自分だけのふりかけを作ろう！
第 2 部 子どもにとって「食べる」とは

☆今回初めて息子 2 人（4 歳、1 歳）と交流会に参加させていただきました。調理実習では様々な素材でふりかけを手作りし、入れる素材によって色々な味がし、とても勉強になり楽しかったです。普段ふりかけを手作りすることはほとんどなかったですが、子どももふりかけが好きなので、こんな簡単にできるし栄養も豊富でとても良いなと思いました。

実習では、その手作りふりかけとごはんをビニール袋に入れ、子どもとぶんぶん回しておにぎりを作りました。振り回すだけなので形も様々ですが、それもひとつの味で、先生や提供会員さんたちが褒めてくれて、子どももとても喜んでいました。自分で作ったおにぎりもとても美味しかったです。

普段私がキッチンに立っていると子どもは嫌がったり、こちらでご飯作りで急いでいるとつい怒ってしまったりで、ご飯は子どもが寝ている時や保育園に行っている時に作ってしまいかちでした。今回の実習や講習を聞き、食育として簡単なお手伝いや調理を少しずつ取り入れ、子どもと一緒に楽しみながらご飯作りをしたいなと改めて思いました。

大台町依頼会員 中須美幸

☆ふりかけ作り親子で参加させていただきました。親子共々楽しませていただき良かったです。普段口にしないような食材も粉々に砕いてふりかけにすることによって、自然と口に運んでくれることが、手軽でいいな・・・と思いました。また講師の方のお話も勉強になりました。南伊勢町依頼会員 C.O.

☆家ではそろえきれない食材数で、色々組み合わせができて楽しかったです。子どもも簡単にお手伝いが出来て楽しそうでした。

おにぎりの作り方も学べて子どもでも作れるやり方だったので、家でも試してみようと思います。もう少し時間があっても良かったと思いました。

2 部 食育の進め方など参考になるお話でした。 度会町 樋上涼子

☆1 部 ふりかけ作りは大人もとても楽しく美味しかったです。自分では思いつかないような食材もあって目からウロコでした。子どもが寝ていて参加できなかったのが残念だったけど、家でも一緒に作ってみたいと思いました。

2 部の先生のお話は血糖値と満腹中枢の関係。子どもを叱るのは食後に！！という話はとても身になりました。同じ食材でも食べ比べたり断面を見せる事、それを話す事が食育になるという話も、まだ出来ない事もありますが、食を通して学ぶ力をつけていってもらえたら良いなと思いました。

度会町 中村実佳

- 平成 29 年 3 月 25 日(土)
- 大台会場(大台町子育て支援センター) 10:00~12:00
参加者大人 5 人 子ども 6 人
- 玉城会場(玉城町保健福祉会館) 14:15~16:15
参加者大人 12 人 子ども 10 人
- 講師：管理栄養士 馬場啓子先生



☆交流会に初めて参加して「かわいい」「面白い」「楽しい」「癒される」でもちょっと疲れた。こどもに接するのは久しぶりでした。我が子の時はこんなだったのかしら？なんて思いながら一緒にふりかけ作りを楽しみました。

好きな材料を好きなだけ選び、すり鉢とすりこ木でゴリゴリ、ビニール袋にご飯を入れ、ふりかけも入れて、ブンブン振り回し、おにぎり完成。

味、大丈夫かなあとと思いながら、ドライフルーツのバナナとしそを投入、他にもあれもこれもと入れて作成。心配していた味のほうも大丈夫、それなりにおいしく出来上がりました。自画自賛です。

一歳半の男の子。なんて好奇心旺盛なんだろう。並んでいるふりかけの材料を見たくてしょうがないけど机が高すぎて見えない。抱っこされて、あれこれ指差して見ていました。自分でもすりこ木でゴンゴン、出来上がったふりかけをすり鉢からスプーンでバクバク、ご飯も食べずにふりかけだけを食べてました。

先生曰く、子どもには、何も足されていない自然のままの味は良くわかるということでした。納得です。

託児では、三ヶ月の赤ちゃんの担当になりました。この子の重さを感じながら抱っこしていました。

とても楽しい一日でした。 度会町提供会員 森本 三重子



☆ふりかけを作ってみておどろいたのは、ふりかけがかんたんに行けるということでした。私はふりかけを作るのがなんかむずかしそうだなと思っていました。でも実際にやってみて、材料をえらんでつぶすだけで、楽しくてかんたんでした。おいしい組み合わせをえらぶのが楽しかったです。

自分で作ったのをおにぎりにして食べたら、梅をふりかけにいれたらよかったと思いました。

玉城町 松山志帆 12 才



**平成 28 年度ファミリーサポートネットワーク
 全国アドバイザー講習会・交流会(大阪会場)**

- 平成 28 年 10 月 7 日(金) 10:00~17:00
- ホテル大阪ベイタワー ■参加者 1 名

テーマ：「いま、ファミリーサポートセンターに求められることは ~守るべきこと・変えていく事~」

近畿、東海等西日本各地から 150 人余りの参加者でした。

基調講演は甲南大学マネージメント創造学部教授前田正子先生の「これからの子育て支援の在り方とファミリーサポートセンター」でした。未婚化・晩婚化・夫婦の出生力低下等、少子化の要因はいろいろあるが、ほとんどの女性が働く現代では共働きは普通の事、少ない子ども達を大切に育てる社会作りが大切、公共の子育て支援だけではなく市民との協働の街づくりによって、子育てを支える住民の意識を育てる必要がある。

ファミリーサポートセンター事業は相互援助活動である。依頼会員としての登録をきっかけにして、地域のさまざまな人に支えられながら子育て期を過ごした人が、次の子育て支援者に育つべく、その視点を持って組織運営をする必要があるとの話に、「今更何を？」なんて思って聞いていましたが、午後のグループ意見交換会で、委託先の変更やアドバイザーの交代などで、継続的な運営が出来なくなっている事や、提供会員不足で依頼成立のために苦労していることなどが、参加したファミサポのアドバイザーから出され、午前中の基調講演の演題に納得しました。

提供会員養成講座を単にサポーター募集ではなく、地域作りの視点で子育て真っ最中のお母さんやお父さんも視野に入れて働きかけをしていく事をさらに強く思いました。

度会町担当アドバイザー 岩井圭子

平成 28 年度提供会員養成講座

- 平成 28 年 5 月 14 日(土)・15 日(日)・21 日(土)・22 日(日)
- 玉城町保健福祉会館 ■受講者 16 名

4 日間にわたる講座で、いろいろな角度から子育てについて学んだ。まずは、子育てをとりまく現代の社会環境、子どもの発育・発達について、子どもの遊びやいざという時の応急処置などなど……。今まで「何となく分かっている」と思っていたことがそうでもなく、新しく知り得たことが、とても多かった。我が子の小さい頃、こういう知識を持っていたら、もう少し余裕をもって育児できたかも、と思う内容も多々あった。

さて、受講を終えて一番強く考えることは、子育ては大人全体の責任、ということだ。子どもの育ちは、環境の違いや、保育者がどう関わるかによって、大きく違って来る。お母さんだけではうまくいかない時もある。そこを周りの大人が、どう支えていくのか。自分には何が出来るのか。いろいろと考えさせられた 4 日間だった。

MA

